

.....「史料紹介コーナー」.....

平成26年度も、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 ^{こまつばら} **小松原** ^{みちたろう} **道太郎** 1886~1940年 》
 —神奈川県出身の陸軍中將—



小松原中尉語学研究の件 (登録番号：陸軍省-貳大日記-M42-11-34)

小松原道太郎中將は、明治38年11月、陸軍士官学校(18期)を卒業後、駐ソ武官、ハルピン特務機関長、第23師団長などの要職を歴任しました。この史料は「小松原中尉語学研究ノ件」(明治42年11月10日付)で、小松原中尉が「語学研究ノ目的ヲ以テケ年間露国へ留学」すること等が記されています。明治41年制定の「外国語学奨励規則」(登録番号：陸軍省-貳大日記-M41-4-31)によれば、外国語学(露語、清語、独語、仏語、英語)の奨励、中でも「露語清語ノ奨励ニハ特ニ重キヲ置ク」とし、「在職三年以上ノ尉官同相当官ニシテ身体強健品行方正勤務ノ成績良好ニシテ(中略)語学中ノ一科ニ熟達スルモノ」に外国語学高等試験を受験させ、合格者には「更ニ外国ニ赴キ其ノ語学ヲ研究スル」機会が与えられました(同規則は昭和12年4月、「外国語学校委託学生取扱規則」に改廃)。



ノモンハン事件機密作戦日誌 (登録番号：満州ノモンハン-211)

昭和14年4月25日、関東軍司令官植田謙吉大將は、隷下兵団長等を新京に招致し、「満『ソ』国境ニ於ケル『ソ』軍(外蒙軍ヲ含ム)ノ不法行為ニ対シテハ(中略)初動ニ於テ封殺破摧ス」とする「満『ソ』国境紛争処理要綱」を示達しました。5月13日、当時関東軍隷下の第23師団長であった小松原中將は、同「要綱」に基づき、ノモンハン附近ノルハ河を越境した外蒙軍に対し、「満軍ノ全力ヲ以テ此ノ敵ヲ撃滅セントス」と関東軍司令官に報告しました。これが日本軍とソ軍・外蒙軍との間で繰り広げられた「ノモンハン事件」の第1報で、以後9月16日の停戦協定成立までの間、第23師団は関東軍の主力となって戦いました。この史料は「ノモンハン事件機密作戦日誌」で、前記「要綱」や各種電報とともに、同事件の経緯などが記録されています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない、一時的に閲覧できない史料があります。詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
 防衛研究所企画部企画調整課
 専用線：8-67-6522、6588 (史料紹介コーナーのみ6668)
 外線：03-3713-5912
 FAX：03-3713-6149 ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>